

●ロシア・ユーラシア主義の理解に／1920～1930 年代の亡命ロシア人の思想運動の成果

ユーラシアと人類

1920～1930 年代ユーラシア主義者著作アンソロジー

編集・序文・註 ルステム・ヴァヒトフ

カリーニングラード、「カント記念バルト連邦大学」出版部、2024 年刊

Евразия и человечество.

Антология произведений евразийцев 1920-1930-х годов

Сост., предисл., коммент. Р.Р.Вахитов. Калининград, Изд-во Балтийского федерального ун-та им. И.Канта. 2024 г., 567 с. ISBN9785997108618. (R267827) **hard ¥11,770.**

■本書には、1920～1930 年代のロシア・ユーラシア主義の創始者とその優れた理論家たちの著作とさらに「二番手」のユーラシア主義者の著作を収めました。前者はサヴィツキー(1895-1968)、ニコライ・トルベツコイ(1890-1938)、スプチンスキー(1892-1985)、フロロフスキー(1893-1979)、カルサヴィン(1882-1952)、ニコライ・アレクセエフ(1879-1964)、後者はニキーチン(1885-1960)、プシカロフ(1888-1984)、サドフスキー(1861-1925)、ハラ＝ダヴァン(1883-1941)、などです。

■編者ルステム・ヴァヒトフ(1970 年生)は、バシコルトスタン共和国科学アカデミー附属人文研究所「民族政治学部門」の上級研究員、哲学準博士、バシキール国立大学準教授です。専攻分野は高等教育の哲学と社会学、ユーラシア主義研究、プラトニズム哲学、ロセフ哲学、ソビエト・マルクス主義、民族学研究、ソビエト文明研究、階層理論、などです。

ユーラシア主義的な政治社会評論家としても知られ、2023 年には「ヴラジーミル・ダーリ」社から『ユーラシア主義：ロゴス、エイドス、シンボル、神話』(Евразийство: Логос. Эйдос. Символ. Миф.)を上梓しています。

■現代ロシアは「ユーラシア主義復興」の時代とも言われています(ドゥーギンの「ネオ・ユーラシア主義」など)。現代ロシア思潮の理解のためにも、本書のような 1920～1930 年代ユーラシア主義の論文集成は欠かせません。

■ちなみに、ユーラシア主義の起点は、1920 年刊『ヨーロッパと人類(Европа и человечество)』(トルベツコイ)、1921 年刊の論集『東方への脱出(Исход к Востоку)』(トルベツコイ、フロロフスキー、サヴィツキー、スプチンスキー)と言われています。ユーラシア主義は、ロシア国民をヨーロッパ人とともアジア人と異なる「ユーラシア人」と規定する、亡命ロシア人が生み出した思想です。

